

令和8年(2026年)5月 青果部 主要品目の市況

	種類	品名	市況の概要	2026年5月 数量 (トン)	2026年5月 平均単価 (円)	前年同月比 数 量	前年同月比 平均単価
1	野菜	人参	徳島県・千葉県・長崎県等が主要産地です。数量はかなり減少、平均単価は安くなりました。	502	165	78%	87%
2		キャベツ	千葉県・神奈川県・茨城県等が主要産地です。干ばつの影響で入荷は多くなかった。数量は減少、平均単価はかなり高くなりました。	866	111	86%	139%
3		トマト	熊本県・愛知県・神奈川県が主要産地です。数量は減少、平均単価はやや高くなりました。	279	367	88%	110%
4		レタス	群馬県、長野県が主要産地です。数量は平年並み、平均単価はかなり高く推移しました。	224	215	98%	137%
5		馬鈴薯	鹿児島県が主要産地です。数量は増加、平均単価は安くなりました。	296	227	115%	82%
6	果実	その他柑橘	愛媛の柑橘類が入荷された。数量は増加、平均単価は安くなりました。	107	343	115%	87%
7		りんご	数量はかなり減少、平均単価はやや安く推移しました。	77	471	61%	94%
8		メロン	茨城県が主要産地です。数量は減少、平均単価は横ばいとなった。	152	561	82%	98%

【増減基準】

- ①並み、横ばい：(＋)0～2%
- ②やや増加(減少)：(＋)3～10%
- ③増加(減少)：(＋)11～20%
- ④かなり増加(減少)：(＋)21～50%
- ⑤大幅に増加(減少)：(＋)51%以上